DOC.NO,OM201101R1

バスターストリーム☆Z

Buster Stream ☆Z

取扱説明書

OPERATION MANUAL

MODEL BSZ-1 [日本国内用]

重要事項	**本製品は一般用に限り御使用下さい。** **呼吸器系の機器など、生命に係る用途には使用できません。**

ext

EXITO Co.,Ltd.

目　次

はじめに 1

重要なお知らせ 2

安全上のご注意 3

システムの特長 7

荷ほどき点検 7

主要諸元 8

各部名称 9

操作方法 11

- 運転準備 11
- 運転 12
- スプレー開始 14
- 作業終了 15

点検・整備の方法 17

コンプレッサーエラー表示の内容 23

故障かな？と思ったら 24

消耗品一覧 27

保証項目 28

御相談窓口 29

はじめに

この取扱説明書は、システムの運転・保守点検に関する説明書で、
本製品を日常運転操作される方、保守点検をされる方を対象としています。
この取扱説明書は、製品をご使用になる前にお読みいただき、機器の説明、
安全の情報や注意事項、操作・取扱方法などの指示に従い、正しくご使用ください。

【本書の内容に関するご注意】

（１）本書の内容の一部、あるいはすべてを無断で転載する事は固くお断り致します。

（２）本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

重要なお知らせ

- この取扱説明書は、製品を御使用になる前にお読みください。また、この取扱説明書は、必要な時にすぐ参照できるよう、運転および保守点検を担当されている取扱者の手近な所に保管しておいてください。
- 運転・保守点検の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、機器の説明、安全の情報や注意事項、操作・取扱方法などの指示に従い、正しくご使用ください。
- 運転不能・故障などが発生した場合は、すみやかに最寄りの当社営業所、代理店にご連絡ください。
- この取扱説明書に記載していない操作・取り扱い・純正部品以外の消耗品、交換部品の使用や改造などを行わないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。これらに起因する事故については、当社は一切の責任を負いません。
- この取扱説明書で理解できない内容・疑問点・不明確な点がございましたら当社営業所、代理店にお問い合わせください。
- 本製品は日本国内用として製造していますので、海外では使用しないでください。
  海外でご使用され、機械の故障・人身事故などが発生しても、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、空気を圧縮し、スプレーガンにより噴霧・塗布するシステムです。空気以外のガス圧縮及び決められた液以外には使用しないでください。一般用に限ってご使用ください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ず
お守り頂くことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を
次の区分で説明しています。

⚠ 警告	この表示は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意	この表示は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守り頂く内容の種類を説明しています。

指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」事項です。

禁止	この表示は、してはいけない「禁止」事項です。

安全上のご注意（２）

全 般

⚠ 警告	禁止	本製品は、空気の圧縮のみに使用し、空気以外のガス圧縮には絶対に使用しないでください。
		本製品は、空気を圧縮し、所定の液を噴霧、塗布します。定められた液以外の噴霧、塗布は絶対にしないでください。
		本製品は呼吸器用エアー源や生命維持に関わる用途には直接使用しないでください。
		換気の悪い部屋・空間などでの使用はしないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態では使用しないでください。
		粉じん・砂じん・鉄粉・油分などの異物が多い環境では使用しないでください。
		腐食性ガスのある場所では使用しないでください。 コンプレッサー本体・タンク及び構成部品の発錆・腐食・寿命低下の原因になります。
		爆発性・引火性ガス・有機溶剤・爆発性粉じん及び火気のある場所では使用しないでください。
		人に圧縮空気を噴射したり、液を噴霧したり、空気流を向けたりしないでください。人が重大な危害を負う可能性があります。
		高所での使用はスプレーガンのみを使用し、本体を設置しないでください。落下のおそれがあります。
		作業関係者以外は近づけないようにしてください。（いたずらや誤った操作により思わぬ人身事故を招きます。）
	指示	本機は一般用に限って使用してください。
		明るく、広く、平らで風通しの良い場所に設置してください。
		噴霧作業時は適切な保護具（マスク・手袋・保護メガネ、面体)を着用してください。

安全上のご注意（３）

設置・運転

⚠ 警告	禁止	仕様と異なる電圧では使用しないでください。（焼損・起動不良・故障などの原因になります。）
		運転中及び停止直後は、シリンダヘッド・空気タンク・止めバルブなどが高温となりますので触らないでください。（やけどの原因になります。）
		配線・コネクタに無理な力を加えないでください。（断線・ショート・焼損事故の原因になります。）
		カバーを覆ったまま運転しないでください。（火災や過熱事故事故の原因になります。）
		本製品に異常や故障がある場合は使用しないでください。修理を当社営業所や代理店に依頼してください。
	指示	接地（アース）を必ず接続してください。（漏電・感電・けがの原因になります。）
⚠ 注意		床面が硬く水平な所に設置し、キャスターのストッパーを必ずかけてください。
		製品本体をキャスターで移動する場合、傾斜面等では自走してぶつかり、けがをする可能性がありますのでご注意ください。
		周囲温度が仕様の範囲内でご使用ください。
		周囲に振動の影響がない場所に設置してください。
		床面の強度がない場合、あるいは車輪が4個完全に接地していない場合、振動・騒音が大きくなります。
		安全弁は圧力が規定以上になると作動して、圧縮機及び電動機の過負荷を防止する重要な安全装置です。
		安全弁が動作した時は、大きな音が出ますが故障ではありません。 安全弁に顔を近づけないでください。
		作業が終了したら、製品を停止して、空気タンク・フィルター・ミストトラップ内のドレン及び圧抜きを実施してください。

安全上のご注意（４）

保守点検		
⚠ 警告	❗ 指示	保守点検は指定の時期で実施してください。（実施しないで運転を継続した場合、重大な事故に至る場合があります。）
		加圧された部品を取り外す前に、本機をすべての圧力源から確実に切り離し、空気系統全体の圧力を逃してから作業を開始してください。
		運転休止中は、元電源を遮断してください。
⚠ 注意		点検・整備の際は保護具（保護メガネ・手袋・マスク）を着用してください。(けがの原因になります。)
		ドレンを抜く際、空気タンク内に圧力があると、勢いよく吹き出すことがありますので、コックを徐々に開いてください。
		エアフィルターの汚れや目詰まりに注意し、目詰まりが激しい場合は新品に交換してください。
		分解・整備を行う場合は、必ずシール部分（パッキン、シールテープ）を新しく交換してください。

システムの特長

- この製品は除菌液・防錆液を圧縮エアーにより、噴霧し、壁などに塗布する
  システムです。
- 圧縮エアー中に含まれる粉じんや水分を除去するフィルターとミストトラップが設置
  されていますので、きれいな仕上がりになり、剥離、ハジキなどの塗装不良がありません。
- 専用のスプレーガンを使用することにより、細かく均一な粒子を噴霧でき、溶液の
  無駄な消費を防ぎます。

荷ほどき点検

⚠ 警告	禁止	不足しているものがありましたら、入手するまで運転しないでください。

- 製品本体とすべての付属品を取り出し、すべて揃っているか、確認してください。
  輸送中の損傷が無いか確認してください。
  不足しているものや、損傷しているものがありましたら、ご購入先にご連絡ください。

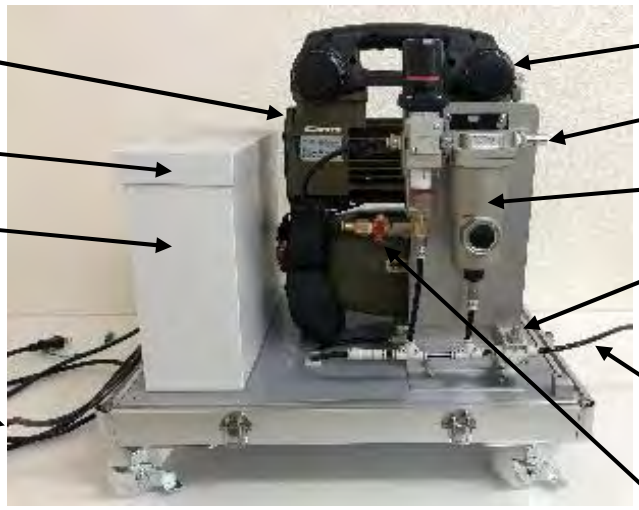
① 本体 	**② スプレーガンとカップ** 	**③ 噴霧用エアーチューブ (ワンタッチジョイント付き)**
④ ドレンチューブ 	**⑤ 取扱説明書** 	

主　要　諸　元

名称		バスターストリームZ
型番		BSZ-1
電源		AC100V、50/60Hz
出力		900 W
タンク容量		5 L
最高圧力		0.9 MPa
再起動圧力		0.69 MPa
設定圧力		0.3～0.9 MPa
吐出空気量		80(0.6 MPa時) l/min
充填時間		タンク満タンまで　高速99%の場合：24秒(0.9 MPa)
		低速50%の場合：44秒(0.9 MPa)
連続使用時間		最大1時間
モーター		ブラシレスモーター
オイル		オイルレス
回転数		2800(高速)～1500(低速) rpm
騒音		60～68 dB
接続口		1/4 インチ
レギュレータ圧力範囲		0.05～0.85 MPa
マイクロフィルター口径		5 μm
ミストトラップ水分除去率		99%
スプレーガン	塗料供給方式	重力
	塗料ノズル口径	0.6Φmm
	空気最高圧力	0.68 MPa
	空気使用量	50 l/min
	塗料噴出量	25 ml/min
	パターン開き	60 mm
	高微粒化	○
	質量	220 g
スプレーカップ容量		250 ml
スプレーカップ質量		135 g
使用温度範囲		環境：5～40 ℃ 、流体：5～43 ℃
本体運転質量		25 kg

各　部　名　称

外装カバー
取手
パチン錠
キャスター
ストッパー


コンプレッサー
エアフィルター
圧縮空気出口
収納ボックスフタ
ミストトラップ
収納ボックス
ドレンコック
電源コード
ドレンチューブ
元バルブ

コンプレッサー操作パネル
圧抜きセンサー
コンプレッサータンク
HAIGE

収納ボックス内
(スプレーガン、カップ
チューブなどを収納する。)

噴霧用減圧弁圧力計

圧力調節用ハンドル

フィルター付減圧弁

ミストトラップ

予備バルブ

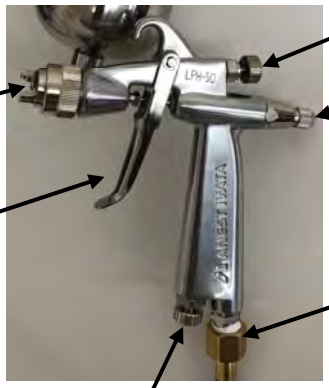
元バルブ

エアーチューブ

吐出ノズル

カップ

スプレーガン



パターン調節ツマミ

塗料調節ツマミ

引き金

圧縮空気入口

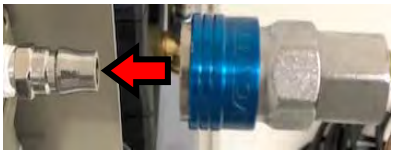
空気量調節ツマミ

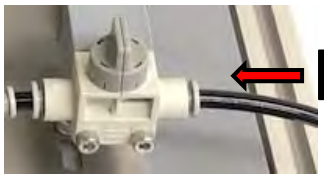
操　作　方　法

⚠ 警告	禁止	濡れた手で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。また濡れた場所で使用しないでください。
		アースクリップをガス管に接続しないでください。
		人に圧縮空気を噴射したり、液を噴霧したり、空気流を向けたりしないでください。人が重大な危害を負う可能性があります。
⚠ 注意		使用後は、必ず電源スイッチを「OFF]にし、電源プラグを抜いてから、アースを外してください。
		運転中にコンセントを抜いて停止させないでください。故障の原因になります。
	指示	ねじのゆるみ、腐蝕、破損がないか確認してください。ゆるみがある場合は増し締めしてください。
		コンプレッサーを連続して使用した場合は、同程度の時間休ませてください。
		コンプレッサーにはモーター過負荷保護システムが内蔵されています。低電圧または過負荷などで、保護システムが作動して、本機が停止した時は、電源スイッチを「OFF」にし、モーターが冷えるまでしばらくお待ちください。モーターが冷えた後、電源スイッチを「ON」にして再始動することができます。

① 運転準備

- 本体を平らで、風通しの良い場所に設置してください。
- 本体のキャスターストッパーを4箇所「ON」にし、固定してください。
- 本体のパチン錠を外し、カバーを上に持ち上げ、取り外してください。
  カバーは別に保管してください。
- 収納ボックスを開け、スプレーガン，カップ，チューブ類を
  取り出してください。
- エアーチューブを圧縮空気出口およびスプレーガン
  圧縮空気入口にワンタッチジョイントをカチッと音が
  するまで差し込んでください。
  チューブの方向はありません。
- ドレンチューブはすでに接続して
  あります。

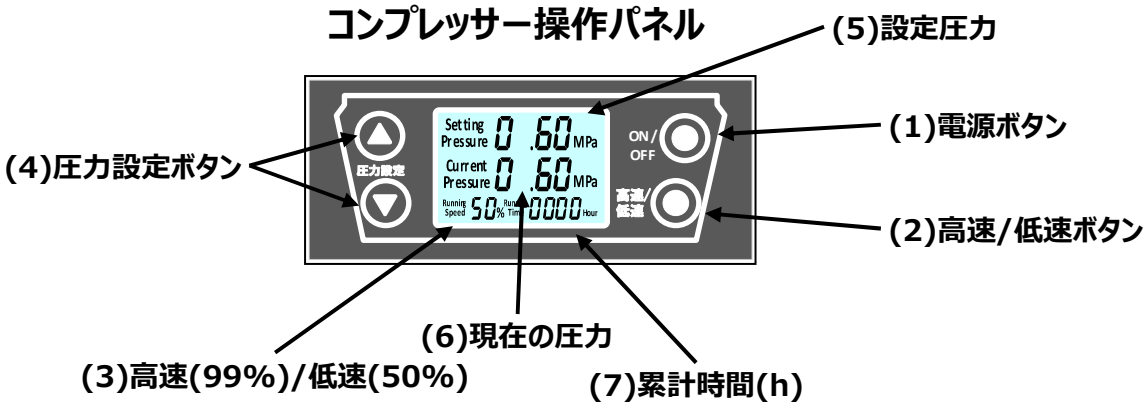




・ ドレンチューブを排水先に引き回してください。
使用後、ドレンコックを開くと、エアーと水が勢いよく噴出するので、
水受けの中(ボトルのような容器)あるいは噴出、飛び散りが起きても問題無い
場所へ導いてください。
・ ドレンチューブを固定してください。(ドレン時、チューブが暴れる可能性があります。)
・ 圧縮エアー元バルブ、ドレンコックが一旦「**閉**」になっていることを確認してください。
・ スプレーガン引き金が噴出状態ではないことを確認してください。

⚠ **注意**	❗ **指示**	パチン錠で指などを挟み、怪我をしないよう注意してください。
		カバーを持ち上げる時、体勢を整えてください。ぎっくり腰になる危険性があります。

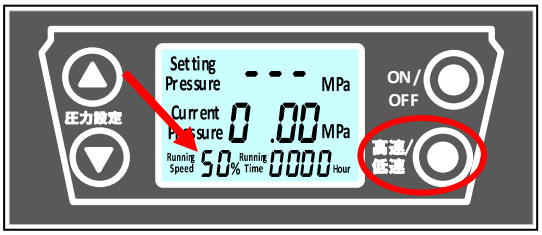
② **運転**
・ 電源プラグに付属しているアースクリップを接続します。
・ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
操作パネルが明るくなり5秒間初期化されます。



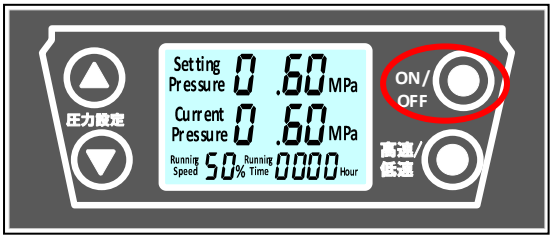
(1) 電源ボタン　押すごとに「ON」「OFF」交互に切り換わります。
(2) 高速/低速ボタン　押すごとに高速(99%)と低速(50%)[静音]が
切り換わります。
(3) 高速(99%)/低速(50%)　(2)のボタンを押すごとに表示が変わります。
(4) 圧力設定ボタン　押すごとに0.05MPa単位で設定ができます。
(0.30～0.90 MPa)
(5) 設定圧力　設定した圧力が表示されます。
(6) 現在の圧力　現在の圧力が表示されます。
(7) 累計時間(h)　15分起きに積算され、1時間で表示が変わります。
メモリー機能がありますが、長期間使用しないとリセット
されることがあります。

(運転つづき)

・ 操作パネルの高速/低速ボタンを押し低速にします。



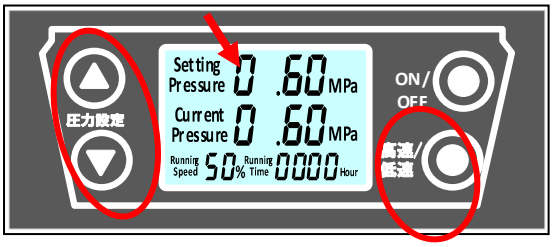
・ 操作パネル電源ボタンを押し「ON」にします。



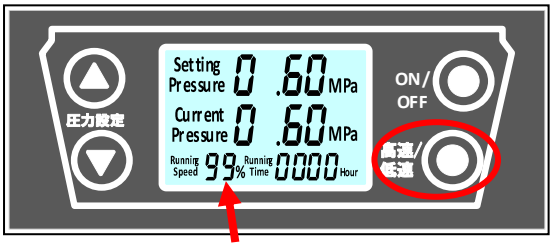
運転が始まります。コンプレッサーはタンク内の圧力により運転/待機を繰り返します。

・ 5分程度暖機運転をします。

・ 動作中に圧力設定ボタン▲または▼を押し、タンク内圧力を「0.60MPa」に設定します。設定値はパネル内のSetting Pressureに表示されます。



・ 高速/低速ボタンを押し、高速にします。
低速で使用する場合はそのまま使用します。



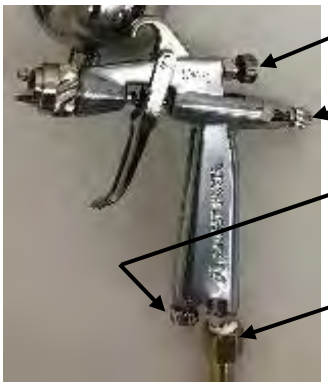
・ 元バルブを「開」にします。(フィルター以降エアーが流れ込み、スプレーガン手前まで圧力が上昇します。)

・ 減圧弁上部の圧力計で0.3MPa程度になるようにハンドルを回します。
(圧力計を見て、時計回りで圧力が上昇します。)
ただし、ハンドルロック解除のため、一旦軽くひっぱり、ハンドル下のオレンジ色のラインが見えていることを確認してから廻してください。

③ スプレー開始

⚠ 警告	❗ 指示	噴霧作業時は適切な保護具（マスク・手袋・保護メガネ、面体)を着用してください。

・ スプレーガンの3つのツマミがすべて締まっていることを確認します。



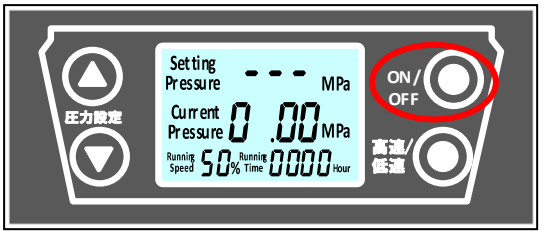
・ スプレーガンとカップを接続します。
・ ガンを持ち、カップに塗料を入れます。
・ 空気量調節ツマミを半回転程度まわし、引き金を引きます。
・ エアーが出ていることを確認したら、次に塗料調節ツマミを半回転程度回します。
・ 塗料が噴霧されていることを確認したら、次にパターン調節ツマミを半回転程度回します。
・ この状態で対象物を塗装します。
・ コンプレッサーを1時間程度使用したら、同等時間休ませます。

※ 上記スプレー要領は標準的なものになります。噴霧する対象物に合せ、

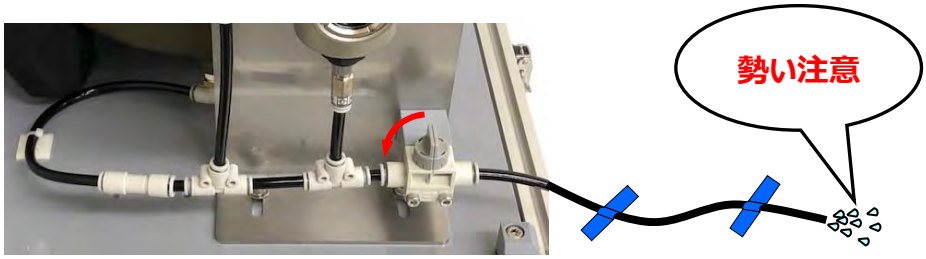
ツマミ操作量を変更してください。

④ 作業終了

- 作業が終了したら、カップ内の塗料を使い切るか、元の容器に戻します。
- 水道水などをカップに入れ、別の場所や容器内に噴霧し、ガンとカップ内を洗浄します。
- 操作パネルの電源ボタンを「OFF」にします。



- 元バルブを「閉」にします。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- アース線を外します。
- ドレンコックを「半開～開」にし、タンク内・フィルター内・ミストトラップ内の溜まり水をドレンチューブから排水させます。排水の勢いに注意してください。



- 系内圧力がすべて抜けたらドレンコックを「閉」にします。
- エアーチューブとスプレーガン、圧縮空気出口のワンタッチジョイントをどちらも外します。
- ドレンチューブを外す時は継手のリリースリングを押しながら、チューブを引き抜きます。

- スプレーガンとカップを取り外します。

- 暖機運転について
  コンプレッサー起動時にすぐエラーメッセージ「E02]が表示される場合があります。
  そのまま暖機運転を5分程度行い、表示が消えてから作業を行ってください。

- 圧抜きセンサーについて
  一定以上の圧力がかかり、モーターが停止した時にシリンダー内の空気が排出されます。

- 安全弁について
  タンク内やチューブ内の圧力の上がり過ぎによる破裂を防ぐために、
  一定以上の圧力になると自動で圧縮空気を排出します。
  （作動圧力：1.4 MPa）

点検・整備の方法

⚠ 警告		点検・整備をするときは、完全に圧力を逃してから作業してください。
		点検・整備をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
		点検・整備後は、すべての部品を確実に取り付けたことを確認してください。

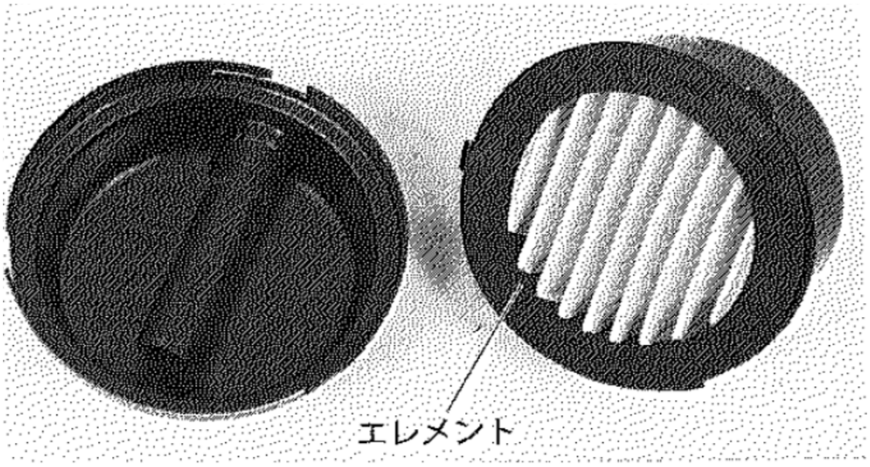
① **コンプレッサー**

● エアフィルターのエレメント清掃

・ エアフィルターのカバーを反時計回りに回して外します。

・ エレメントを取り出します。

⚠ 注意	❗ 指示	エアフィルターを取扱う際は、カバーのエッジで手を切らないよう注意してください。



・ エレメントの内側から圧縮空気を吹き付けて汚れを落とします。

⚠ 注意	🚫 禁止	エレメントは水洗いしないでください。

・ 取り外した手順と反対に組み立ててください。

※ エレメントの汚れがひどい場合は、新しいものと交換してください。

● 各部の取付ネジの点検

・ エアフィルターのゆるみ、ネジのゆるみ、腐蝕、破損がないか、確認してください。ゆるみがあった場合は締め直してください。

● 修理について

・ 運転中に異常がありましたら、運転を中止し、当社営業所や代理店までお問い合わせください。

● 清掃

・ 本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
・ アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。

② スプレーガン

● 保守時の作業手順

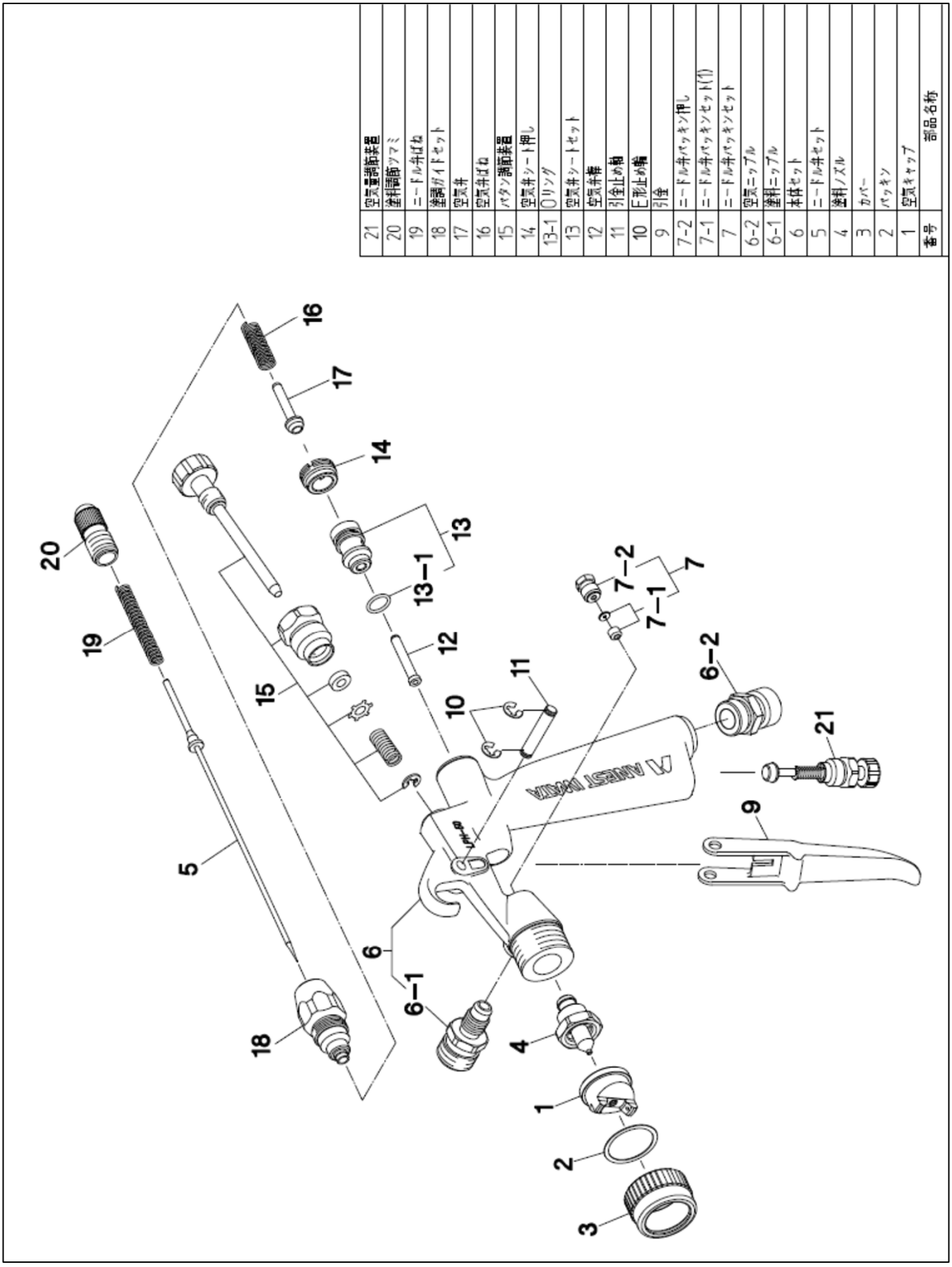
・ 次ページの分解図を参照しながら、分解を行います。ガン内部は分解前に十分洗浄します。
・ ニードル弁パッキンを調節する時は、ニードル弁セットを挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締まったらスパナで再度締め込みます。
スパナで締める目安は、手で締めて止まったところから１／６回転程度です。
・ ニードル弁セットの取り外し時、塗調ガイドセットを本体より取り外す必要はありません。
塗料調整ツマミを外し、ニードル弁ばねを取り外し本体より引き抜いてください。
・ 空気弁の組立は、安全弁、空気ばね、塗調ガイドセットをあらかじめ組み合せた後にニードル弁セットを挿入し、その状態で本体をセットに組込み塗調ガイドセットをねじ込みます。
・ パタン調節装置及び空気量調節装置の組立はおのおのの調節装置を全開にしてから本体セットにねじ込みます。

● 点検箇所と部品交換基準

・ 下記の箇所を点検します。

No,	点検箇所	部品交換基準
1	空気キャップ及び塗料ノズル各穴の通路	つぶれ、変形がある場合
2	パッキン、Oリング類	変形、摩耗の場合
3	塗料ノズル、ニードル弁セット間のシート漏れ	塗料ノズル、ニードル弁セットの洗浄を十分行っても、漏れがある場合は交換してください。 塗料ノズル単品、ニードル弁セット単品で交換する場合は摺り合わせを実施し、漏れが無いことを確認してください。

● スプレーガン分解図


21 空気量調節装置
20 塗料調節ツマミ
19 ニードル弁ばね
18 塗調ガイドセット
17 空気弁
16 空気弁ばね
15 パターン調節装置
14 空気弁シート押し
13-1 Oリング
13 空気弁シートセット
12 空気弁棒
11 引金止め軸
10 E形止め輪
9 引金
7-2 ニードル弁パッキン押し
7-1 ニードル弁パッキンセット(1)
7 ニードル弁パッキンセット
6-2 空気ニップル
6-1 塗料ニップル
6 本体セット
5 ニードル弁セット
4 塗料ノズル
3 カバー
2 パッキン
1 空気キャップ
番号 部品名称

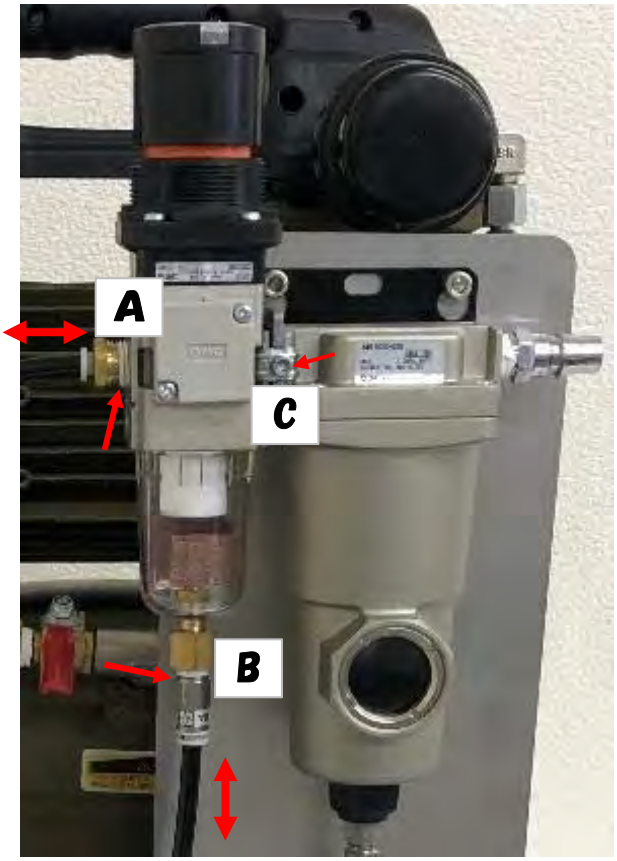
③ フィルターレギュレーター

⚠ 警告	❗ 指示	交換作業前には、設定圧力は必ずハンドルを左に回して、設定ゼロの位置にしてください。
		交換作業は次ページの「分解図」を参照して行ってください。
		交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから運転してしてください。

● 本体の交換方法

・本体に接続されているチューブ2本を取り外します。
図の様に継手のリリースリングを押しながら、チューブを引き抜きます。

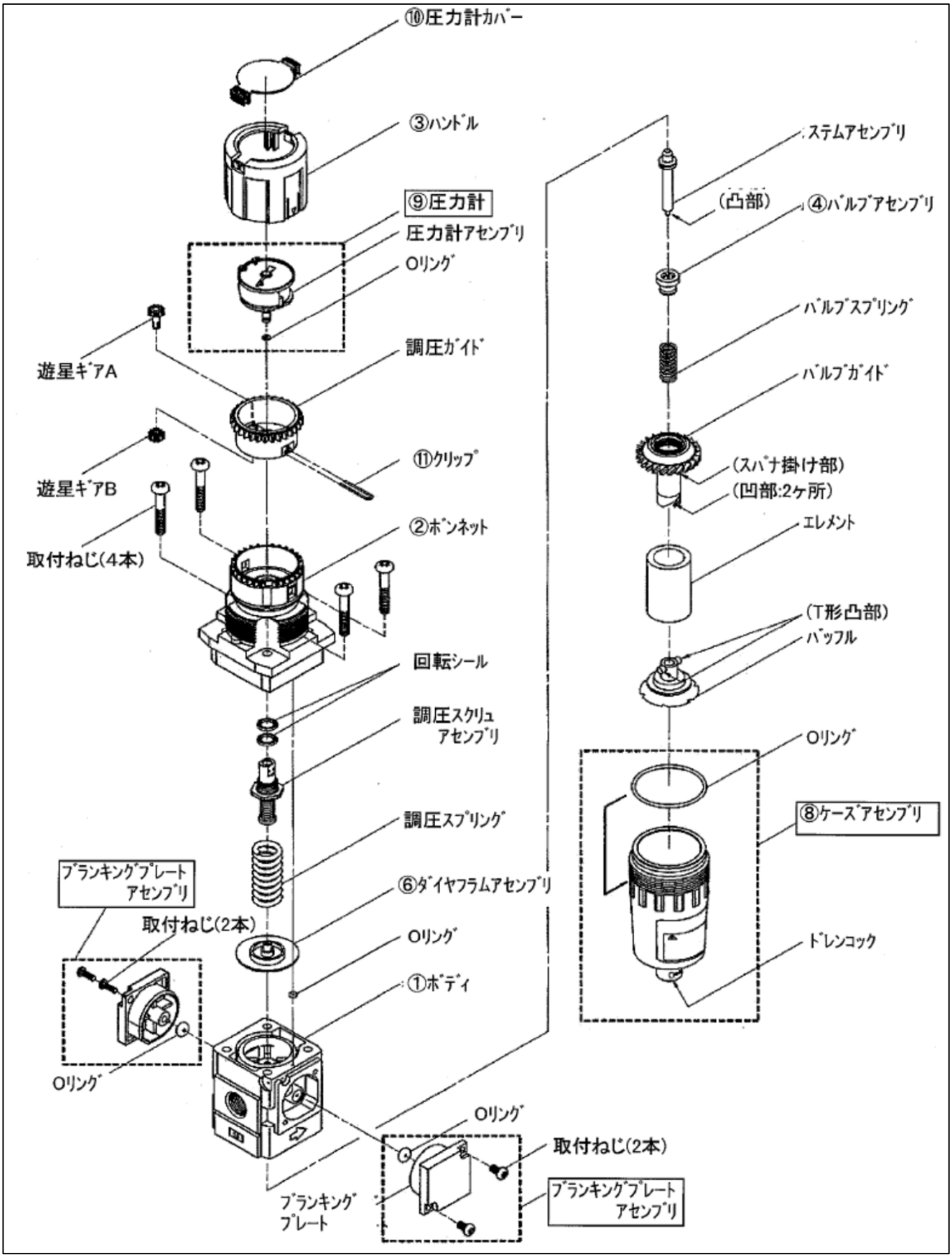
・図中Ａ部及びB部のチューブを抜き、レンチ等で継手を外します。
・その後、Ｃ部をゆるめ本体を取り外します。
・新しいフィルターレギュレーターに外した継手を取付けます。この時、ねじ込んであった古いシールテープを取り、新しくシールテープを3周程度巻きます。
・その後、C部の接続スペーサーで締め付けます。
・外したチューブを当たるところまで強く押し込みます。



● エレメントの交換方法

・ ケースアセンブリーを取り外します。（手で握って左回転させます。）
・ バッフル、エレメントを取り外します。
・ 新しいエレメントをバルブガイドに装着します。
・ バッフルを装着します。
バルブガイドの凹凸部(2箇所)にバッフルのＴ形凸部を合せて挿入し、手で右にカチッとするまで回し、固定します。
・ ケースアセンブリーを取り付けます。

● フィルターレギュレーター分解図



コンプレッサーエラー表示の内容

- 使用状況により、操作パネルにエラーコードが表示されます。
  下表に従い対処してください。

表示 メッセージ	原因	対処方法
E01	過電圧又は 電圧不足	延長コードを使用している場合に表示される場合があります。また、ブレーカーから遠い場所から電源を取る場合も表示されることがあります。 その際は、ブレーカーから近いコンセントから電源をお取りください。
E02 **E08**	過電流	起動後すぐにメッセージが表示表示される場合は、5分程度静音モードで暖機運転を行ってください。 暖機運転を行っても表示される場合は、コンセントから電源プラグを抜き、電源を落とし、しばらく時間をおいてから再度電源を入れてください。
E04	シリンダー内 圧力過多	シリンダー内の空気が抜けず、ピストンが上下できない状態が考えられます。 圧抜きセンサーを交換してください。
E016	本体過熱	コンセントから電源プラグを抜き、電源を落とし、しばらく時間をおいてから再度電源を入れてください。
E032 **E128**	モーター過熱	コンセントから電源プラグを抜き、電源を落とし、しばらく時間をおいてから再度電源を入れてください。

故障かな？と思ったら

● コンプレッサー

状況	原因	対処
作動しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグを差し込む
	スイッチが「ON」になっていない	電源ボタンを押す
	本体・モーターの過熱	温度が下がってから電源を入れ直す
	モーター保護装置が働いている	温度が下がってから電源を入れ直す
安全弁が作動する	タンク内に水が溜まっている	タンク内の水を排出する
	安全弁の故障	当社営業所あるいは代理店に連絡
エアーが出ない、弱い	出口バルブが閉まっている	バルブを開ける
	エアフィルターの汚れ	清掃・交換
	延長コードなどの使用による電圧降下	直接コンセントに差し込む
タンク充填に時間がかかりすぎ	エアフィルターの汚れ	清掃・交換
	空気の漏れ	各部の漏れを確認
	延長コードなどの使用による電圧降下	直接コンセントに差し込む
	ピストン、ベアリングなどの摩耗	当社営業所あるいは代理店に連絡
エアーが漏れる	ドレンコック、機器のゆるみ	しっかり閉める
	安全弁からの漏れ	安全弁のリングを1度引いてから自動的に戻るか確認 戻らない場合は当社営業所あるいは代理店に連絡
	ピストン、ベアリングなどの摩耗	当社営業所あるいは代理店に連絡
金属部に触れるとビリビリする	漏電している	感電の恐れがあります。ただちに電源を切り、電源プラグを抜いて当社営業所あるいは代理店に連絡

● スプレーガン

状況	発生箇所	チェック箇所	原因	増し締め	調整	洗浄	部品交換
塗料漏れ	スプレーガン先端部	塗料ノズル～ニードル弁セット	シート面のゴミ・キズ・摩耗			●	●
			塗料調節ツマミの緩めすぎ		●		
			ニードル弁用バネノヘタリ				●
		塗料ノズル～本体	締め付け不良	●			
			シート面のゴミ・キズ			●	●
		ニードル弁パッキン部	ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎによるニードル弁セット戻り不良		●		●
			ニードル弁セットへの塗料の固着によるニードル弁セット戻り不良		●	●	
	ニードル弁パッキン部	ニードル弁パッキン～ニードル弁セット	摩耗	●			●
		ニードル弁パッキン部	締め付け不良	●			
塗料出ず	スプレーガン先端部	塗料調節ツマミ	開度不足		●		
		塗料ノズル	孔の詰まり・ゴミ・固着			●	
		ニードル弁パッキン～ニードル弁セット	塗料固着			●	●
			ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎ		●		●
空気漏れ	空気弁セット部	空気弁	シート面のゴミ・キズ			●	●
		空気弁シートセット	シート面のゴミ・キズ			●	●
			空気弁ばねのヘタリ				●
		Oリング	劣化・キズ				●

● フィルターレギュレーター

状況	原因	対処
圧力調整できない	スプリング類の折損	本体交換
	異物噛み込み	
	バルブ固着	
流量が取れない	エレメントの詰まり	エレメント交換
各所からのエアー漏れ	異物噛み込み	本体交換
	各部の破損	

消 耗 品 一 覧

部品名		数量	商品コード
コンプレッサー	エアフィルター	2	2190149n
	ピストンカップ	2	4200165n
スプレーガン	塗料ノズル	1	LPH-50-062G-4
	ニードル弁パッキンセット	1	LPH-50-062G-7(Ⅱ)
	空気弁棒	1	LPH-50-062G-12
	空気弁	1	LPH-50-062G-17
フィルターレギュレーター	本体(エレメント付)	1	AWG20-02G1-J
	エレメント	1	AF20P-060S

保　証　項　目

● 保証期間

・ お買い上げの日から1年間と致します。
保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり、有償対応となります。

● 保証の適用

・ お買い上げいただいた商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(保証修理)
ただし、往復送料や出張修理を行った場合の出張費は、含みません。
・ 保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は当社の所有になります。
・ 本規約の対象となる商品は、日本国内で使用し、故障した場合に適用されます。
日本国外に持ち出しした時点で保証は無効となります。
・ お買い上げ日より7日間以内の初期不良に当たる場合、送料・手数料は当社負担にて対応致します。

● 保証適用外の内容

・ 純正部品あるいは当社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
・ 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
・ 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
・ 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
・ 示された能力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
・ 本商品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次損失に対する補償
・ 当社が認めいない改造をされたもの
・ 地震、台風、水害などの天災により生じた不具合
・ 注意を怠った結果に起きたもの
・ 薬品、雨、雹、氷、石、塩分などによる外から受ける要因によるもの
・ 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色，塗装割れ，傷，腐蝕，錆，樹脂部品の破損や劣化など)
・ 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ)
・ 当社または御社が認めているサービス工場以外で修理をされたもの
・ 消耗品および劣化部品
・ 保証修理以外の調整・清掃・点検・消耗品交換作業など
・ 商品を使用できなかったことによる損失の補填
・ 当社が認めていない転売者から購入した商品
・ 日本国外での持ち出し

ご 相 談 窓 口

- 販売元

株式会社アイポケット
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町194番地 横浜ニューポートビル3F-A
TEL045-680-0515　FAX045-662-7737

- 製造元

株式会社 エクシト
〒224-0007
神奈川県横浜市都筑区荏田南5-8-13
TEL045-944-5583 FAX045-944-5584